

羽衣の松 薬剤散布 (2016年3月31日)

平成28年3月30日、静岡市清水区三保の羽衣の松で薬剤散布を行いました。ハダニ及びシンクイムシの防除が目的です。観光客が多いので、早朝6時から作業を行いました。



看板を設置し、観光客に注意を喚起します。



柵の外側にさらにトラロープも設置しました。



低い枝は地上から散布します。



高い枝は木に登ったり、脚立の上から散布します。

羽衣の松 薬剤散布を詳しく見る

ふじのくに地球環境史ミュージアム (2016年3月30日)

平成28年3月30日、3月26日にオープンしたばかりの「ふじのくに地球環境史ミュージアム」に行ってきました。まだ、駐車場などは整備中でした。ガイドさんも不慣れなようで、説明は要領を得ませんでした。ウィークデイにもかかわらず、盛況でした。構想30年の博物館なので、多くの人が期待してきているようです。素晴らしい研究業績のある研究員を集めているので、今後、どのように変わっていくのか楽しみです。しかしながら、現状は標本展示も少なく、展示方法の工夫もないので、友人を誘って、あるいは孫を連れて、また行こうとは思わなかったです。何よりも残念なのは、「静岡県」が感じられなかったことです。



静岡南高校の校舎を利用した施設です。駐車場は学校のグランドです。



安田館長のご専門の環境考古学の説明もあり、環境史を意識した展示です。



20年前から静岡県に自然系博物館の整備をするよう運動してきた「NPO 静岡県自然史博物館ネットワーク」の皆さんが制作し、収集した標本が展示してあります。しかし、NPOのことは一言も触れていません。



企画展示室には掛川の化石群の紹介もありますが、標本のラベルの字が小さく、また、説明も少ないので、ただ、見ただけではよくわかりません。



「百年後の静岡が豊かであるために」というテーマに沿って、今の生活を振り返る試みもされています。



積み木などの玩具が用意されているキッズルーム

[ふじのくに地球環境史ミュージアムを詳しく見る](#)

羽衣の松 土壌改良 (2016年3月22日)

平成28年3月22日、静岡市清水区三保の羽衣の松で土壌改良工事が始まりました。工事は水圧穿孔による固結層の破壊です。静岡市、静岡県の担当者の立会いのもと、樹木医の飯田正徳さんの指導により、試験的に穴を掘削し、水圧やノズルの角度などを決定しました。当日はテレビカメラも多数来て、取材して行きました。



幅80cm深さ80cmの穴を掘り、断面に透明アクリル板を当てて、掘削の状況を観察します。



各局の取材クルーが取り囲んでいます。



飯田正徳さんの指導で実際に羽衣の松周辺で掘削します。



掘ったあとは、クレータのような穴ができます。

[羽衣の松 土壌改良を詳しく見る](#)

「羽衣の松」枯枝剪定 (2016年3月18日)

平成28年3月16日、三保松原の「羽衣の松」の枯枝剪定を実施しました。発注は静岡市観光交流課で当協会が受託し、樹木医の飯田正徳さんの指導により、源平造園建設(株)がツリークライミングチームの協力で行いました。



羽衣の松はよく見ると枯れ枝がたくさんあります。落枝の危険もあるし、木にも負担になっています。



膏薬病にかかっている枝もありました。枝先が枯れており、シンクイムシやハダニの影響もあります。



生きている枝元にはトップジンを塗ります。



ツリークライミングチームが鋸で剪定します。



ノキシノブも除去しました。



新芽はほとんど伸びていなくて、樹勢が弱まっていることがわかります。

[「羽衣の松」枯枝剪定を詳しく見る](#)

花と緑の講演会 (2016年2月26日)

平成 28 年 2 月 25 日、公益財団法人静岡県グリーンバンク主催の講演会が静岡市のしずぎんホールユーフォニアで開かれました。講師は(株)豊田ガーデンの天野麻里絵さんで「花のあり暮らしの楽しみ」という演題で話されました。花だけでなく、色々なリーフやグラスを使って、季節感のある立体的な花壇づくりの話で勉強になりました。



平野理事長の挨拶



会場は花の会の関係者らでいっぱいでした。



県志村理事の挨拶



講演に先立って行われた感謝状の贈呈



講師の天野麻里絵さん



チューリップの球根をまとめて植え、その上にパンジーを植栽した。ボリューム感と不揃いの面白さがある。

[花と緑の講演会を詳しく見る](#)

経済センサスにご協力を (2016 年 2 月 19 日)



[経済センサスにご協力をを詳しく見る](#)

三保松原でガンマ線樹木腐朽診断を実施 (2016年2月19日)

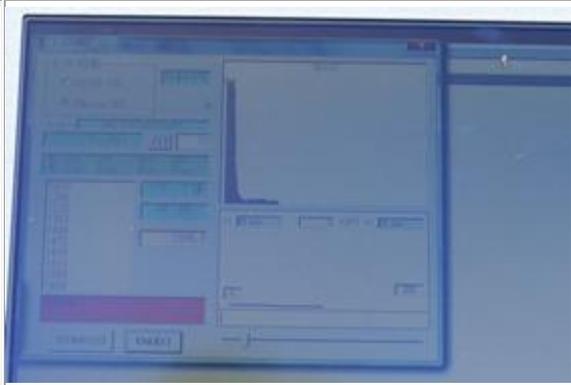
平成28年2月18日、三保松原で国交省国土技術政策総合研究所緑化生態研究室の飯塚康雄主任研究官により、ガンマ線樹木腐朽診断を実施しました。ガンマ線による診断では測定時に樹木を傷つけることはないこと、腐朽材と健全材の明確な境界値が示すことができることが利点です。調査には県森林整備課、静岡市歴史文化課、治山林道課の職員らが立会いました。併せて、ぼん太による腐朽診断も実施しました。



四角のレールを設置し、その上を線源とセンサーを走らせ、計測し、パソコンにデータが送られる。



県や静岡市関係者が覗き込む。



ガンマ線の発生装置	最初に送られてきたデータから図化した画像
	
<p>最終的に示された画像。薄い部分が腐朽している。</p>	<p>JR 東日本コンサルタンツの永石さんがぽん太で診断</p>

三保松原でガンマ線樹木腐朽診断を実施を詳しく見る

平成 27 年度静岡県都市緑化技術研修会 (2016 年 2 月 15 日)

平成 28 年 2 月 12 日、静岡市の男女共同参画センター(あざれあ)で平成 27 年度静岡県都市緑化技術研修会が静岡県公園緑地課と(一社)日本造園建設業協会静岡県支部の共催により開催されました。緑化行政関係者、造園関係者など 46 名が参加しました。

特別公演は(一社)日本造園建設業協会技術調査部長の野村徹郎氏が「海外で活かす日本の造園技術」

静岡県公園緑地課の渥美史陽氏が「小笠山運動公園の芝生管理について」

静岡市公園整備課の山田 慎氏が「日本平公園整備について」

会員実績報告は(株)愛樹園の中野孝三氏が「造園建設業が行う東北地区除染作業の現状について」が行いました。

講演内容はバラエティに富んで勉強になりました。特に、野村氏のこれからの造園業については、海外も視野に入れるという考え方ははじめて伺って、参考になりました。中野氏の除染については、初めて除染作業について体系づけて説明していただき、目からうろこでした。



司会は特種東海フォレストの鈴木氏



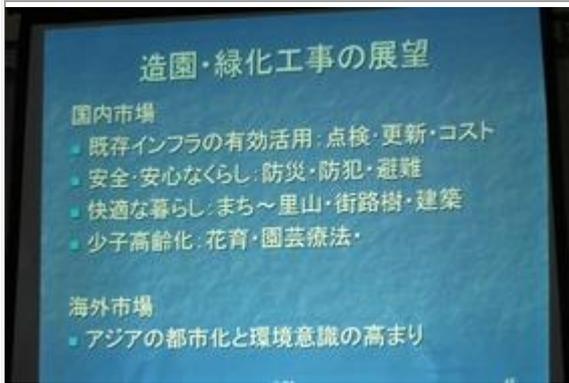
濱田県公園緑地課長の挨拶



内山(一社)日造協静岡県支部長挨拶



特別講演を行う野村氏



造園・緑化工事に展望について、国内市場は狭くなっているが、海外への進出が期待できる。



県公園緑地課の渥美氏



静岡市公園整備課の山田氏



日本平公園の計画鳥瞰図



除染について説明する中野氏



閉会の挨拶をする池谷副支部長

[平成 27 年度静岡県都市緑化技術研修会を詳しく見る](#)

三保松原で空洞腐朽調査を実施 (2016 年 2 月 15 日)

平成 28 年 2 月 9 日～10 日に三保松原の羽衣の松と神の道でアーボソニック3D を使用して空洞腐朽調査を実施しました。調査は JR 東日本コンサルタンツにお願いしました。はじめに幹に計測位置をテープでマーキングし、センサーを打ち込み、ハンマーでたたき、その打撃音が伝わる速度を計測することにより幹の中の腐朽状態や空洞の有無が分かります。念のため、一部の計測箇所はレジストグラフも併用しました。木の低いところは脚立や梯子を用いて、高いところはツリークライミングの技術を持った方にやってもらいました。



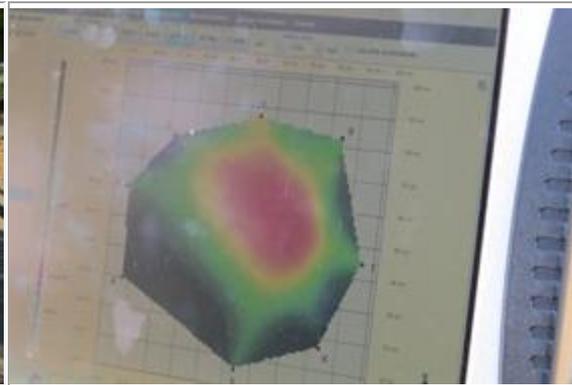
ピンクのテープで測定位置をマーキングします。幹の屈曲部、枝分かれ、異常な肥大箇所、幹肌の異常箇所などを選びます。



センサーを幹に打ち込み、ハンマーでたたき、パソコンへは無線でデータが送られます。



下のパソコンではデータを見て、異常があれば再びたたいてもらいます。



パソコンで処理することにより、図形として見ることができます。



念のためレジストグラフも併用して調べます。



木の高いところはツリークライミングの技術を持った方が調べます。

三保松原で空洞腐朽調査を実施を詳しく見る

さくら保護管理技術講習会 (2016年2月9日)

平成28年2月9日、静岡市産学交流センター7階大会議室でさくら保護士之証交付式及びさくら保護管理技術講習会が開催されました。参加者はさくら保護士、造園関係者、行政関係者など56人でした。

講師は公益財団法人日本花の会の田中秀明氏で「桜の維持・管理方法の基本について」を講演しました。

さくらの名所をつくるには桜の特性を十分に理解する必要がある。樹勢回復をするためには、その原因を解明して対策をとる必要があることを教えていただきました。



静岡県さくらの会副会長の県くらし・環境部志村理事の開会の挨拶



講師は(公財)日本花の会 結城農場長の田中氏



さくら保護士や造園関係者が熱心に聴講



パワーポイントを使って、豊富な事例を紹介

[さくら保護管理技術講習会を詳しく見る](#)

当協会が男女共同参画社会づくりの宣言団体になりました(2016年2月8日)

平成28年1月18日に静岡県くらし・環境部男女共同参画課へ「男女共同参画社会づくり宣言」届出書を提出したところ、平成28年2月5日に登録証が来ました。会員の皆様も次のことに努めてください。

- ・育児・介護休暇の取得しやすい環境造りを進めます。
- ・女性も男性もお互いの能力を発揮し、よりよい社会をつくる環境整備に努力します。
- ・高齢者、障がい者、年少者など、あらゆる方々が生き活きと働ける職場づくり

登録証



男女共同参画社会づくり 宣言事業所・団体

宣言書

私たちは、男性も女性も個性と能力を十分に発揮し、いきいき活躍できるように、次の取組を行うことを宣言します。

取組内容

育児・介護休暇の取得しやすい環境づくりを進めます。
女性も男性もお互いの能力を発揮し、よりよい社会をつくる環境整備に努力します。
高齢者、障がい者、年少者など、あらゆる方々が生き生きと働ける職場づくり

平成28年1月18日
公益社団法人 静岡県造園緑化協会
会長 高林 久雄

静岡県

当協会が男女共同参画社会づくりの宣言団体になりましたを詳しく見る

三保松原危険木調査(2016年2月8日)

平成28年2月5日、静岡市治山林道課、静岡県森林整備課と静岡市歴史文化課から受託した三保松原危険木調査のうち、アーボソニックと3Dカメラ調査の対象木を選定しました。三保の松は曲がりくねったものが多く、観光客がたくさん通る周辺の松も危ないものが多いようです。



伐倒駆除した根を搬出するために掘り出しているところを見せてもらいました。根が途中から鉛直に曲がって深く入っていることがわかります。東北沿岸部のマツと違って深いです。



根株にキノコが生えているものもあります。



曲がった枝をワイヤーで吊っているが、掛ける位置が間違っているようです。ここは羽衣の松へのメインルートです。



神の道の市道に張り出したマツ。黄色い標識がつけてある。市道の占用許可が間に合わないので、今回はこの木はパス。



電線が食い込んでいるものもあります。



神の道の木道に斜めに生える松。対象木としました。

[三保松原危険木調査を詳しく見る](#)

街路樹剪定士実技試験 (2016年2月3日)

平成28年2月1日、愛知県の愛・地球博記念公園で街路樹剪定士実技試験が開催されました。受験者は77名(当日欠席2名)で静岡県からも6名が参加しました。午前中はトウカエデ、午後はプラタナスを剪定しました。プラタナスは樹高が10mを越えるものもあり、立ち枝も多く、皆さん苦勞していました。試験結果は3月に通知されるそうです。



脚立、剪定道具、掃除用具も各自、持参なので参加者はトラックで来ています。



愛知県支部事務局長の中嶋さんが開会のあいさつをしました。



西駐車場から試験会場まで脚立などを運びます。途中、階段や登坂などあって大変です。



午前中はトウカエデの剪定です。A班が作業中はB班が剪定した枝を掃除し、片づけます。

講師が見本木で剪定の実演をします。



午後のプラタナスは樹高が高く、一斉に梢に取りついている様はなかなか壮観でした。

街路樹剪定士実技試験を詳しく見る

第3回浜松特別支援学校緑の保全事業 (2016年1月22日)

平成28年1月20日、県立浜松特別支援学校で今年度第3回の緑化指導を実施しました。

指導者は(有)永井造園の永井さん、(株)大瀬造園の堀之内さん、(有)昭花園の寺田さんです。

生徒は高等部の2,3年生の6人です。

作業はカイヅカイブキの剪定、ツツジの徒長枝の剪定、サンゴジュ、マテバシイのひこばえの切り取りです。

当日は日本全体を寒気が覆い、浜松市内でも雪がちらつく、大変に寒い中での作業になりましたが、午前中いっぱいみんな頑張りました。



堀之内さんがお手本を見せます。



寺田さんがどの枝を切るのか指示します。



永井さんが丁寧に切り方を教えます。



高等部の先生も一緒に指導します。



最後はみんなで切った枝を片づけます。



「みんな頑張りました」と永井支部長の挨拶です。

第3回浜松特別支援学校緑の保全事業を詳しく見る

三保松原のボーリング調査 (2016年1月19日)

当協会が静岡市より受託した「平成27年度三保松原老齢大木危険度調査業務委託」のうちボーリング調査が平成28年1月19日に開始されました。

1か所は羽衣の松近くの売店の前です。地下水が10mを超えても出なかったため、15m掘りました。12.8mで地下水が出ました。地下水は雨由来の水ではなく、少し遠いところから来ているようです。

2か所目は神の道の龍の松の伐採跡の近くです。こちらは10mまで掘って、5mを超えたところで地下水が出ました。

三保の松原の地下水位は東日本大震災で倒れた東北の松林のように高くはなく、地下水が松の生育に影響はしていないようです。

また、売店からの生活排水の影響もないこともわかりました。

今後、サンプルを分析し、詳細な結果が明らかになります。



ボーリング機械は自走式のコンパクトなものです。
無水で穴を揉んでいきます。



ケーシングして掘り進めます。



地表から 10mまでは砂ばかりです。



11m近くになったら、礫が出始めました。



サンプルに水を混ぜて電気伝導率を測ります。



ようやく、富士山は雪を纏って、綺麗になりました。

三保松原のボーリング調査を詳しく見る

大径木伐採の講習会を開催しました (2016年1月15日)

平成28年1月14日、静岡市の遊木の森で開催しました。当協会の会員11名と中部農林事務所職員3名が参加しました。講師は静岡県林業技術者協会会長の片平成行氏です。

最初にチェーンソー作業の防護衣の説明がありました。昨年からは林業・木材生産業でチェーンソー作業をする場合は防護衣着用が義務になりました。

次に参加者が持参したチェーンソーを点検してもらったところ、目立てが適当でないものが多かったため、午前中は目立てを行いました。

午後は片平氏がコナラを追いツル伐りやV字カットなどの方法で伐採の実演をしました。伐った材は参加者で枝払い、玉切りをして片づけました。

広葉樹はスギやヒノキに比べて硬いものが多いこと、枝葉が広がっているため重心がわかりにくいこと、樹種によっては裂けやすいなど注意が必要です。



最初に防護衣や靴など安全な服装の説明と事故の事例について説明がありました。



各自持参のチェーンソーを点検したところ、目立てが適当でないことがわかりました。中には刃と合っていないやすりを使っているものもありました。



片平講師の目立ての実演。目立ての前に切った削りカスは粉のようでしたが、適正に目立てした後は細長いカンナ屑の削りカスになりました。



コナラの伐採の実演。受口を切って、芯切りや耳きりを行い追い口を切り、目標の方向に正確に伐倒しました。V字カットを行うと三角形にツルが残るので、まわして倒すことができる。



伐った材はみんなで片づけます。倒した材の枝は浮いているのから落とすこと、横になった材は変な張力がかかっている場合があることなどを教えてもらいました。

最後に、どんな伐採技術でもチェーンソーの刃が切れることが重要である。ツルを残すことで伐倒方向をコントロールできる。チェーンソー作業の危険性を認識すること。

大径木伐採の講習会を開催しましたを詳しく見る

建産連賀詞交歓会 (2016年1月12日)

平成28年1月12日、静岡市のグランディエールブuketーカイにおいて、静岡県建設産業団体連合会の賀詞交歓会が川勝県知事、吉川県議会議長、塩谷衆議院議員から来賓をお迎えし、開催されました。当協会からは高林会長、櫻井副会長、赤池副会長が出席しました。川勝県知事は「これから東京オリンピック・パラリンピック、ラグビーワールドカップが開催されるが景観が重要だ」と話されました。



小野副会長が開会の辞



木内会長挨拶



川勝県知事の祝辞



吉川県議会議長の祝辞



塩谷衆議院議員の祝辞



懇談の様子

[建産連賀詞交歓会を詳しく見る](#)

森の力再生事業及び森林(もり)づくり県民税の継続について (2016年1月7日)

森の力再生事業については、平成27年度までの整備目標面積を達成の見込みであり、整備済の箇所では「森の力」は着実に回復しています。

一方で、この10年間で森林所有者による整備が困難な森林では新たな荒廃が進行していることから、平成28年度以降も事業を継続することとし、森林(もり)づくり県民税の課税期間を5年間延長することになりました。

税率は個人は年額400円、法人は法人県民税均等割額の5%と今までと変わりません。

とりあえず、課税期間は5年間で平成32年までとされていますが、事業の実施状況、効果、税負担等を踏まえ、5年後に再検討することになっています。

事業内容については、下草の回復を図るための人工林の強度間伐、台風等で被害を受けた倒木の片付け、放置され過密になった竹林や広葉樹林の伐採などを引き続き進めることで、「森の力」の確実な回復を図っていくこととしています。

詳しくは静岡県交通基盤部森林計画課のホームページの[こちら](#)をご覧ください。

[森の力再生事業及び森林\(もり\)づくり県民税の継続についてを詳しく見る](#)

知事・副知事年始挨拶 (2016年1月6日)

平成28年1月6日、高林会長、櫻井副会長、赤池副会長が川勝知事、大須賀副知事への年始の挨拶のため、県庁を訪れました。知事・副知事への挨拶はグリーンバンク、緑化推進協会らと一緒に行了しました。その後、池谷くらし・環境部長、野知交通基盤部長、教育委員会特別支援教育課長、企業局次長、森林局の森林計画課長、森林保全課長らとも挨拶しました。川勝知事からは緑化はその後の管理が大切であるとのお話をいただきました。



グリーンバンク副理事長らと川勝知事との歓談



川勝知事との記念撮影



高林会長が大須賀副知事と名刺交換



櫻井副会長が大須賀副知事と名刺交換



赤池副会長が川勝知事と名刺交換



くらし・環境部長らとの歓談

[知事・副知事年始挨拶を詳しく見る](#)

ヒマラヤザクラが瀬戸川に咲いていました (2015年12月7日)

先日、熱海高校のヒマラヤザクラが見ごろだと新聞に出ていましたが、平成27年12月6日、焼津市の瀬戸川の土手を散歩していたら、桜の花が咲いていて、近寄ってみたら、大きな字でヒマラヤザクラと書いてありました。



[ヒマラヤザクラが瀬戸川に咲いていましたを詳しく見る](#)

平成 26 年度緑や樹木に関する記事、平成 26 年度新着情報 (2015 年 12 月 2 日)

ホームページの素材が増えたため、更新の際に時間がかかるようになったので、「平成 26 年度緑や樹木に関する記事」と「平成 26 年度新着情報」をまとめて、PDF ファイルにしました。

「平成 26 年度緑や樹木に関する記事」は[こちら](#)です。

「平成 26 年度新着情報」は[こちら](#)です。

[平成 26 年度緑や樹木に関する記事、平成 26 年度新着情報を詳しく見る](#)

森林認証シンポジウムが開催されました。(2015 年 12 月 2 日)

平成 27 年 12 月 1 日、静岡市駿河区「あざれあ大ホール」で「広げよう 世界水準の森林管理」と題して、“ふじのくに”森林認証シンポジウムが開かれました。川勝知事と林野庁木材産業課長の小島氏の挨拶の後、東京大学アジア生物資源環境研究センター准教授の井上雅文氏が「木材産業の現状と将来展望」の基調講演をして、また、森林認証についてのパネルディスカッションがありました。

井上氏の基調講演では、今後、日本の新設住宅戸数は3分の2に減少する。したがって、国産材は海外に輸出することになる。木材を輸出するには森林認証が必要になる。温暖化防止のために二酸化炭素を固定する木材の利用が重要である。2020 年に開催される東京オリンピックの施設も木材をたくさん使わなければならない。また、50 年後も木材を利用するためには、今、植えるために伐らなければいけないと強調しました。

パネルディスカッションでは林材ライターの赤堀氏がコーディネーターを務め、森林所有者である杉山喜英氏、木材流通業の鈴木諭氏、環境貢献に熱心なイオン株式会社の金丸治子氏らが森林認証の認知度はまだまだ低い、最近では、消費者が生産者との信頼関係を求めて国際認証された商品を求めていると議論があった。



川勝知事の挨拶では国際的には森林認証された製品を使うのが当たり前になっている例を紹介した。



会場は、森林組合、製材、木材流通、林業職員などが動員され、300人を超える聴衆だった。



林野庁木材産業課長の小島氏



東大准教授の井上氏は大変に面白いキャラでわかりやすく木材産業の将来について話された。



隣接する会議室では森林認証材の製品などが展示されていた。



コーディネーターの赤堀氏



パネルディスカッション



静岡県森林認証推進協議会会長の中谷県議が会を締めくくった。

[森林認証シンポジウムが開催されました。を詳しく見る](#)

麻機遊水地探鳥会 (2015年11月30日)

平成27年11月29日に開催された日本野鳥の会静岡支部主催の探鳥会に参加してきました。風のない穏やかな日でのんびりと鳥見を楽しみました。まだ、冬鳥は出そろってはいないようで、見られた鳥の種類は少なかった。



探鳥会の参加者は年配の方が多いです。



上空にミサゴが現れました。



カイツブリが群れていました。



オオバンが土手の草を食べていました。



ダイサギが池に佇んでいます。意外と浅い！



大きなナマズを釣り上げた若者がいました。

[麻機遊水地探鳥会を詳しく見る](#)

第8回静岡県景観賞表彰式・記念講演 (2015年11月27日)

平成27年11月26日、静岡市の「あざれあ」で第8回静岡県景観賞表彰式・記念講演が開催されました。記念講演は電通のCMプランナーの八木田真史が「物語がある風景を探して」と題してお話されました。八木田氏はミラノ万博の静岡県の食をテーマにしたPR映像を制作した方で「FOODは風土」というコピーで静岡県のお茶、わさび、日本酒を世界にアピールした。「景観」とは「風景」+「観点」であり、風景の裏に隠された物語を伝え、風景に意味が付加されて、景観になる。「誰かに伝えたい」その想いのスイッチが入ったとき、風景は景観に変化し始める。



開会挨拶する野知県交通基盤部長



壇上の受賞者と表彰者



部長から賞状授与



篠原審査委委員長の講評



CMプランナーの八木田氏



パワーポイントを使って講演

第8回静岡県景観賞表彰式・記念講演を詳しく見る

青葉シンボルロード イルミネーション (2015年11月27日)

当協会の事務所近くの青葉シンボルロードで恒例のイルミネーションが点灯しました。今年で26回目になるそうです。20万球のLEDがケヤキの枝に輝いています。2016年1月31日まで。



青葉シンボルロード イルミネーションを詳しく見る

平成 27 年度花と緑の魅力あるまちづくり連絡会議第 2 回講習会 (2015 年 11 月 17 日)

平成 27 年 11 月 16 日、静岡市葵区の教育会館及び駿府城公園で平成 27 年度花と緑の魅力あるまちづくり連絡会議第 2 回講習会が開催されました。講師は特定非営利活動法人樹木生態研究会の堀 大才氏です。

行政関係者、造園技術者、さくら保護士など 53 人が参加しました。

午前中の座学では樹木の葉からの蒸散、根からの水分吸収などの生理学やホルモンによる様々な現象を書画カメラを使って、実物の樹木の断面を見せていただきました。

午後の樹木診断実習では樹木の形態、枝の伸長、葉の量や大きさ、樹皮の形状、空洞などによる診断方法を教えていただきました。また、イチョウが北側に傾いている理由やポプラの葉の形状、クスノキの枝の落ち方など樹木の特性についての知識を披露してくれました。



ホワイトボードを使って樹木の生理学	実物の木の断面を書画カメラで映写
	
堀先生が樹木診断のデモンストレーション	実習木1で紅林孝始さんが診断の結果発表
	
実習木3で大石春夫さんが診断の結果発表	実習木5で渡辺進さんが診断お結果発表

[平成 27 年度花と緑の魅力あるまちづくり連絡会議第 2 回講習会を詳しく見る](#)

平成 27 年度(公社)静岡県造園緑化協会東部支部 知識・技能研修会 (2015 年 11 月 17 日)

平成 27 年 11 月 13 日に沼津市のプラサヴェルデで当協会東部支部の研修会が開催されました。講師は静岡県農林技術研究所の研究主幹 池村嘉晃氏で「芝生の適正管理及び普及について」と題した講演をいただきました。

芝生の管理には施肥が大切で芝生の種類によって施肥量が違うこと、また、散布の時期が異なることなどを学びました。



平成 27 年度(公社)静岡県造園緑化協会東部支部 知識・技能研修会を詳しく見る

静岡県護国神社 菊花大会 (2015 年 11 月 13 日)

平成 27 年 11 月 12 日、静岡市葵区柚木にある静岡県護国神社で開催されている菊花大会を見てきました。静秋菊花協会が主催するもので、今年で第 64 回になります。11 月 15 日まで開催。



総合花壇



厚系五鉢部門



間管部門



盆栽部門



大懸がい



ディサービスのお客さんが多かった

[静岡県護国神社 菊花大会を詳しく見る](#)

平成 27 年度街路樹剪定士研修会・筆記試験開催 (2015 年 11 月 12 日)

平成 27 年 11 月 10 日、平成 27 年度街路樹剪定士研修会が「愛知県産業労働センター(ウインクあいち)」で開催されました。愛知県 71 名、静岡県 7 名、三重県 8 名、岐阜県 6 名の参加者がありました。



大島日造協中部総支部長挨拶



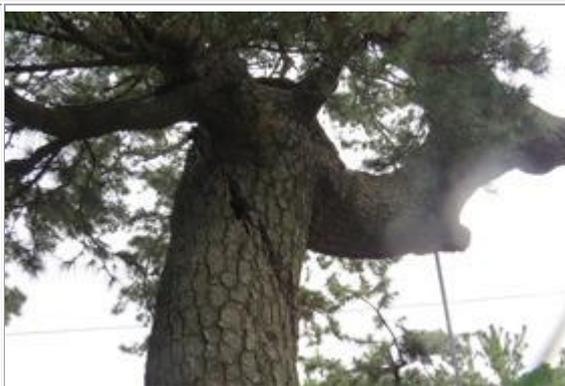
研修会の様子

三保松原 神の道 亀裂の入ったマツを伐採 (2015 年 11 月 2 日)

平成 27 年 10 月 30 日、三保の松原の神の道で見つかった亀裂の入った「龍の松」を伐採する作業が始まりました。当協会の中部支部の(有)飯田庭園が実施しています。神事を行ってから、高い枝を高所作業車とクレーンを使って切ります。世界遺産の構成資産であるため、注目度が高く多くのテレビカメラが入りました。11 月 4 日には作業は終了する予定です。



まず、神事を行い、作業に携わる者は玉串を奉りました。



観光客がたくさん通り、亀裂が入って、倒木の恐れがあるため、伐採することになりました。



クレーンで枝を吊って、高所作業車で切ります。



切り落とした枝は下で玉切って、トラックに載せます。



多くのテレビカメラ、マスコミが集まっていました。



こんなにたくさんのテレビカメラが撮影している前

での作業は初めてでしょう。

三保松原 神の道 亀裂の入ったマツを伐採を詳しく見る

静岡北特別支援学校でたい肥作りのお手伝い (2015年10月29日)

平成27年10月28日、静岡北特別支援学校中学の生徒さんがたい肥を作るお手伝いを当協会の中部支部が実施しました。講師は飯田庭園の飯田泰希さん、堀川さん、望月さんです。グラウンドの周囲に生えているサクラなどの落ち葉を集め、たい肥箱に運び入れました。たくさんの落ち葉と米ぬかをサンドイッチにして足で踏みつけます。



1.5 m²のたい肥箱を20個も用意しました。



校庭に散らばって落ち葉を拾います。



たい肥作りの説明をします。



落ち葉を入れて、踏みつけます。



閉会式で生徒たちからお礼



閉会式が終わった後も、たくさんの落ち葉をビニー

ル袋に入れて運び入れました。

静岡北特別支援学校でたい肥作りのお手伝いを詳しく見る

静岡北特別支援学校で寄せ植え作りのお手伝い (2015年10月28日)

平成27年10月28日、静岡北特別支援学校で寄せ植え作りとたい肥作りのお手伝いを当協会の中部支部が実施しました。指導したのは飯田庭園の飯田泰希さん、望月さん、堀川さんの3人です。寄せ植えはキンギョソウ、パンジー、ノースポールの苗と、クロッカスとムスカリの球根を植えました。



最初に先生から緑化活動の説明



車庫の中で講師の紹介



鉢に土を入れ、花苗を植えます



うまく植えられない子もいます。



完成した寄せ植えを持って、玄関に移動



一つ一つの鉢に顔写真入りのプレート

注)個人情報保護のため、生徒の顔にはモザイクをかけてあります。

静岡北特別支援学校で寄せ植え作りのお手伝いを詳しく見る

全国都市緑化あいちフェア 花と緑の夢あいち (2015年10月15日)

平成27年10月14日、第32回全国都市緑化あいちフェア「花と緑の夢あいち」を見てきました。会場は長久手市にある愛・地球博記念公園です。会期は9月12日～11月8日までです。会期中は無休で入場は無料です。愛知万博10周年記念です。名古屋駅から地下鉄東山線で藤が丘。リニモに乗り換え、愛・地球博記念公園駅で下車。駅前から公園です。天気は快晴で平日だったためか人も少なく、じっくりと見て回ることができました。



会場入り口には鏡を使った花壇。ここで写真を撮るとお花畑に埋もれているよう。



色々な企業が垂直庭園(緑化壁)を展示



愛知県内の小学校が参加してプランター展示



ハンギングバスケット協会の展示



静岡県提供の庭園(農林大学校の生徒が作ったもの)



コンテナガーデンの展示



池の中のサンパチェンスの花壇



花卉の生産量日本一の愛知の花の棚田



あいちサトラボの農のエリア



コスモス畑の奥には稲田とかかし



10月1日に秋篠宮殿下、妃殿下がハナノキを記念植樹



194haもある広大な愛・地球博記念公園の一角にある日本庭園



同時開催のジブリの大博覧会の方が人気があった



愛知万博の際に建てられたサツキとメイの家

全国都市緑化あいちフェア 花と緑の夢あいちを詳しく見る

第3回静岡県景観セミナー（2015年10月13日）

平成27年10月9日、沼津市のプラサヴェルデで開催された第3回静岡県景観セミナーに出席しました。

植松県景観まちづくり課長が開会のあいさつを行った後、星野専門監が「三島市の取組事例」、「焼津市の花沢地区」、「下田市のなまこ壁」など県内の歴史的資源の事例を紹介した。

東京大学先端科学技術研究センター所長の西村幸夫氏が「歴史的資源を核とした景観まちづくり」と題した講演を行った。

京都府舞鶴市の東舞鶴地区では旧海軍の倉庫など赤レンガの建物を活用したまちづくりを行い、赤レンガ博物館を開設したり、赤レンガシンポジウムを開催して、全国の赤レンガマニアを魅了している。東舞鶴では赤レンガの巨大な建物がたくさんあって、市民には当たり前の光景だったが、横浜市の赤レンガを活かした取組を見学して、市内の埋もれていた赤レンガ建造物を探し出した。

新潟県村上市では城下町だった武家屋敷の杉の垣根などに着目し観光化を考えていたが、市民が始めた町屋造りの商店の復活の方に人気が高まってきた。家にあるひな人形などを展示して見せる「人形さん祭り」や「屏風祭り」などを開いている。これらの取組で観光客も来たが、一番の変化はお年寄りたちが人形の解説などで生き生きとしてきたこと、また、裏通りも黒塀にしたり、緑化を図ることにより、町全体が活性化してきた。

【意見交換】

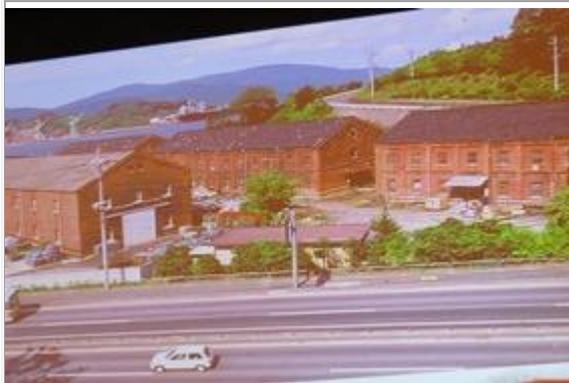
静岡県建築士会の塩見さんらがコーディネーターになって会場からの意見をまとめた。歴史的資源については**気づき**がまず始まり。見慣れた光景もよそ者には珍しい。次に**情報発信**をいかに行うか。ただし、歴史的資源を保存するにはお金が必要。行政がどのように関わっていくのか。（行政が絡むと失敗する）



植松景観まちづくり課長挨拶



講師の東大 西村氏



東舞鶴では当たり前前の光景だった赤レンガ倉庫



コーディネーターの塩見氏

第3回静岡県景観セミナーを詳しく見る

沼津特別支援学校で花壇作りのお手伝い(2015年10月9日)

平成27年10月8日、当協会の東部支部が沼津特別支援学校の花壇作りのお手伝いを行なったので概要を報告します。

【指導者】

藤原造園(株) 藤原正巳さん、(株)大志建設 杉澤研三さん

【生徒指導】

2班に分かれて、花壇作りとプランター作りを行いました。花壇にはシクラメン、パンジー、ナデシコ(ストロベリーパフェ)を植え、プランターにはシクラメン、パンジー、カスミソウを植えました。学校側は秋山副校長をはじめ事務長ら教職員が10人近く参加した。生徒は最初15人くらいいました。土つくりや花壇つくりになれている子もいて、1時間くらいできれいに出来上がりました。作成したプランターは学習発表会のステージに展示されるそうです。



開会式で講師の紹介



花壇を小山状にして植栽



カスミソウを真ん中にして配色



プランター班は土づくりから



最後に水やり



プランターにも水やり



リーダーからお礼の言葉

プランターを前に記念撮影

[沼津特別支援学校で花壇作りのお手伝いを詳しく見る](#)

ライチョウ会議静岡大会が、今月 24 日、25 日に開催されます。(2015 年 10 月 5 日)

第 16 回ライチョウ会議静岡大会が開催されます。全国のライチョウ研究者が一堂に会して、最新の研究成果を報告します。今回は南アルプスエコパーク登録 1 周年を記念して、「市民で守り続ける南アルプスの自然」がテーマです。

日時 平成 27 年 10 月 24 日(土)公開シンポジウム 13:00～16:30

25 日(日)専門家会議 10:00～16:00

場所 しずぎんホール「ユーフォニア」

参加 無料、申込不要

詳細はこちらの[チラシ表](#)、[チラシ裏](#)をご覧ください。

[ライチョウ会議静岡大会が、今月 24 日、25 日に開催されます。を詳しく見る](#)

静岡県ナラ枯れ被害対策ガイド(2015 年 10 月 5 日)

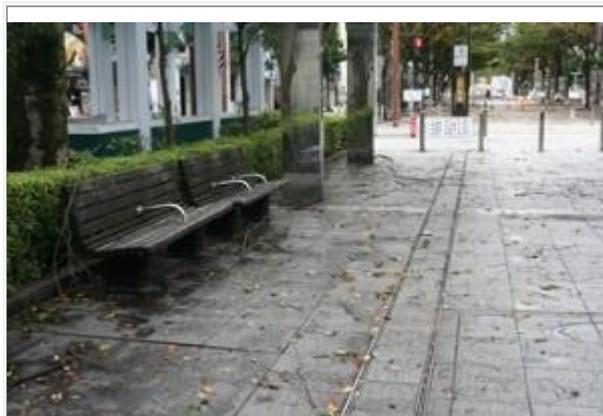
静岡県森林局森林整備課からカシノナガキクイムシの被害対策ガイドの新しいバージョンの提供がありました。県内では伊豆半島まで分布が拡大しているようです。森林だけでなく公園に植栽されているマテバシイなどにも被害が出ているようです。

ガイドは[こちら](#)です。

[静岡県ナラ枯れ被害対策ガイドを詳しく見る](#)

爆弾低気圧が通過(2015 年 10 月 2 日)

平成 27 年 10 月 2 日未明に通過した爆弾低気圧により静岡市葵区の青葉イベント広場ではケヤキの枝が多数、落ちていました。かなり太い枝もあり、人通りが多い時間帯だったらと思うと恐ろしいです。



ベンチや路面に多数の枝



長さ 3m を超える枝も落ちています。



落葉、落枝に覆われています。



直径 5cm くらいの枝もあります。



看板も倒れています。



自転車も倒れています。

爆弾低気圧が通過を詳しく見る